

## 【受賞者コメント】

このたび、60年以上の歴史を誇る日本比較教育学会より第35回平塚賞（本賞）という栄えある賞を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。平塚賞は、初代日本比較教育学会長である平塚益徳博士の業績を記念し、比較教育学研究の発展を期して、若手学会員の研究を奨励することを目的とする最高賞であります。選考に携わってくださった平塚賞運営委員会の皆様、そして日頃よりご指導・ご支援を賜っている多くの先生方に、心より御礼申し上げます。

本書『中国独立学院制度の発足・普及・変貌—高等教育発展の新たな試み—』は、独立学院というユニークな制度の発足から今日に至る展開をたどり、その多様な教育実践、教育効果、さらには直面している課題も捉えた日本初の包括的類書なき総合的研究の書です。世界中の高等教育領域において、Public-Private Partnership（公私連携）モデルに基づく独立学院のような新たな高等教育機関に関する学術図書はほとんど存在しません。本書の刊行を通じて、公私連携モデルが教育機関の運営・管理・改革にいかに関与するかを明らかにするとともに、証拠に基づく政策立案（Evidence-Based Policy Making: EBPM）の実践的意義を探る一助となれば幸いです。

執筆にあたっては、留学時代の九州大学、博士後期課程で学んだ広島大学における諸先生方のご指導、ならびに中国における現地調査への多くのご協力があったからこそ、研究をまとめ上げることができました。あらためて、深く感謝申し上げます。

特に、現職である山梨学院大学においては、研究業績出版助成をはじめ、日々の研究・教育活動に対して多大なご支援をいただいております。とりわけ、法人理事長の古屋光司先生、学長の青山貴子先生、張華先生、太郎良留美先生、熊達雲先生をはじめ、日頃お世話になっているすべての先生方に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。温かく自由な学びの環境の中で、研究に専心できることは、大変ありがたく、誇りに思っております。

現在は、①大学教育の質保証と人材育成、②留学生の教育と支援、③女性研究者のキャリアと家庭の両立という三つのテーマを柱に研究を進めております。今後は、これらの課題に取り組む中で、教育・研究・交流のさまざまな場面において日中友好の架け橋となるべく、尽力してまいります。

2011年に日本へ留学してから、早いもので14年が経ちました。振り返れば、多くの先生方や仲間たちに支えられ、今日という日を迎えることができました。この場をお借りして、

改めてすべてのご恩師、関係者、そして家族に心より感謝申し上げます。このたびの受賞を励みに、より一層研究と社会貢献に努めてまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

山梨学院大学経営学部経営学科特任講師  
潘 秋静

